

院内報「みらい」(予防接種の話)

今年も予防接種の時期がやってきました。

私は他の開業医の先生と一緒に、田名公民館や大沢公民館を始め近くの小学校や中学校で相模原市の予防接種事業に参加しています。開業した当時は予防接種はツベルクリン、BCGのほか、日本脳炎なども集団で行なっていましたが、現在ではBCGとポリオだけが集団接種となり、ほかのものは個別接種となりました。

法律が変わり、医者一人が接種できる子供の数が制限されたり、問診の仕方が細くなり、聴診が必ず行なわれたり、体温が37.5度以上の子供は接種が受けられなくなりました。また昔は予防接種の後はお風呂に入っはいけない言っていました、今では構わないことになっています。接種が多い時期には一ヶ月に10日も昼休み時間に接種に行かなければなりません。2次から3時までが接種時間のためクリニックの診療開始が少し遅れてしまうこともあります。

予防接種を受けるのは大人でなく、数ヶ月の赤ん坊から中学生まで様々で、公民館で行なう時は一緒に来る若いお母さんや、お父さんを見てると自分の年を感じてしまいます。また先輩の先生方と一緒に仕事をする数少ない機会でもありますし、新しく開業された先生と知り合いになるのもこういう機会です。孫を連れてくるおばあちゃんが膝の痛みで通院している患者さんだったり、注射を受ける中学生、小学生が怪我をして通っていた子供だったりすることもあり、開業して20年もしたら今まで以上の人と関わる事になるでしょう。

今年も人との関わりを大事にして頑張っていこうと思います。

院長 木内哲也

